

## シングルスプレー混合栓(センサー式)

EK370E型

EK370E-TN型

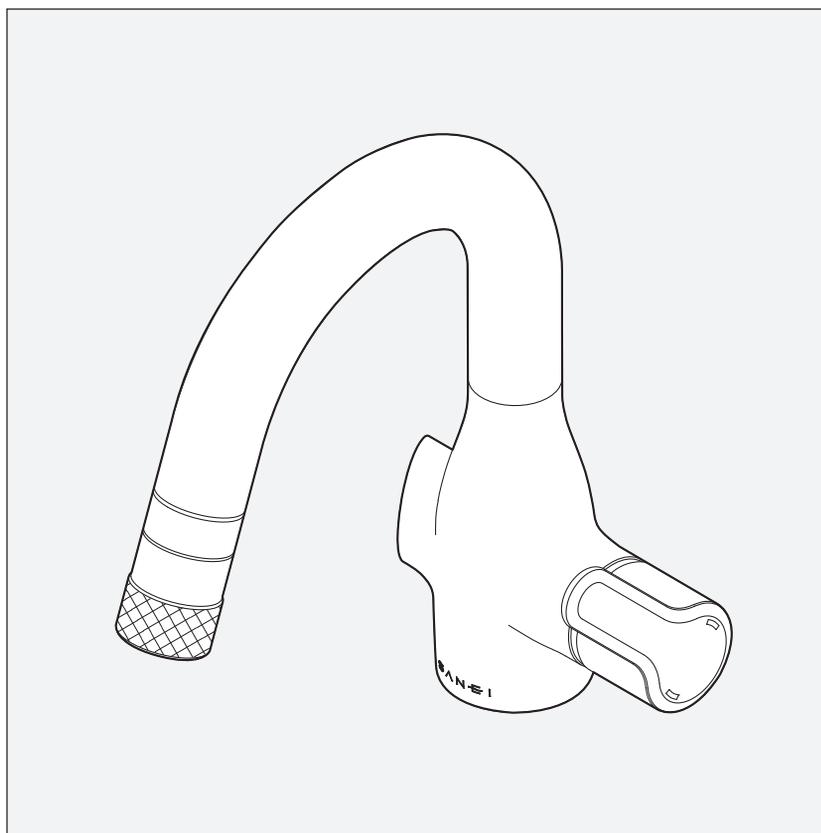
(寒冷地用 ……………)

EK370EK型

EK370E-TCN型

## 施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



## お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

なお、保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

## 工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

## 本製品について

各部の名称・寸法図……………1~2

## 施工について

施工に関する安全上のご注意……………3~5

適切な使用条件……………5

施工前のご注意……………5

梱包明細……………6

施工手順……………7~13

## ご使用について

ご使用に関する安全上の

ご注意……………14~18

使い方……………19~20

## 凍結予防について

一般用の場合……………21

寒冷地用の場合(水抜方法)……………21

## 日頃のお手入れ

汚れの拭き取り……………22

センサー部の掃除……………22

ストレーナパッキン・

吐水口の掃除……………23

## 定期的な点検・部品交換

可動部分の点検……………24

配管周りの水漏れ・器具の

ガタツキ・ホコリの除去……………24

レバーのガタツキ……………24

シャワーホース・逆止弁の交換時期……………25

## こんなときは

停電時の措置……………25

故障? その前に……………25~26

本製品の構造……………27

## その他

仕様……………28

## 保証とアフターサービス

保証とアフターサービス……………30

保証書……………裏表紙

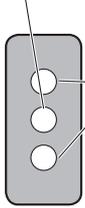
# 本製品について 各部の名称・寸法図

## 各部の名称

### 本体側面センサー

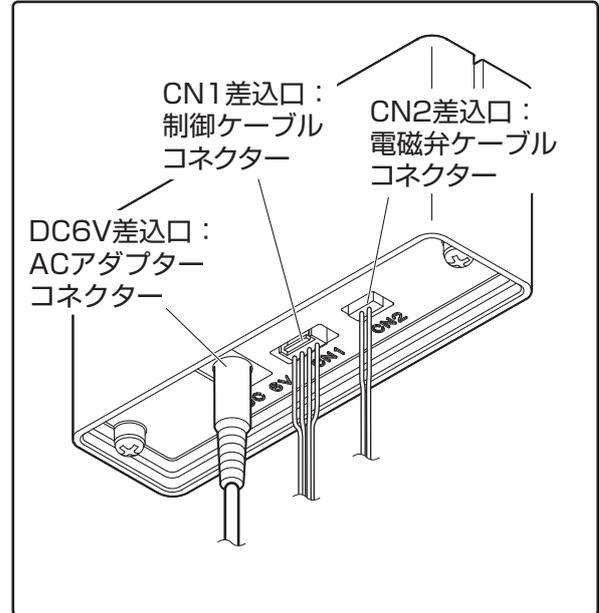
#### 表示ランプ(P19)

- ・センサー検知時に一瞬点灯します。
- ・エラー発生時に点滅します。



#### センサー(P19)

- ・手をかざすと、水の出し止めができます。
- ・水栓に触れずに操作できるので衛生的です。
- ・感知距離は、約10mm～約100mmです。
- ・出しっぱなし防止のため、1分間連続で吐水した時に自動で止水します。



吐水口本体  
(センサー内蔵)

磁石

レバー

シャワーヘッド(切替) (P20)  
ハンドル操作により  
整流吐水・シャワー  
吐水に切替が出来ます。  
収納時はパイプ先端の  
磁石で固定されます。

銅管

電磁弁

フレキホース  
(給湯側)

フレキホース  
(給水側)

シャワーホース

電源ボックス

制御ケーブル

電磁弁ケーブル

寒冷地用

水抜き  
ジョイント

水抜き  
ハンドル

逆止弁  
ユニット

接続金具  
(逆止弁あり)

(止水栓)

ACアダプター

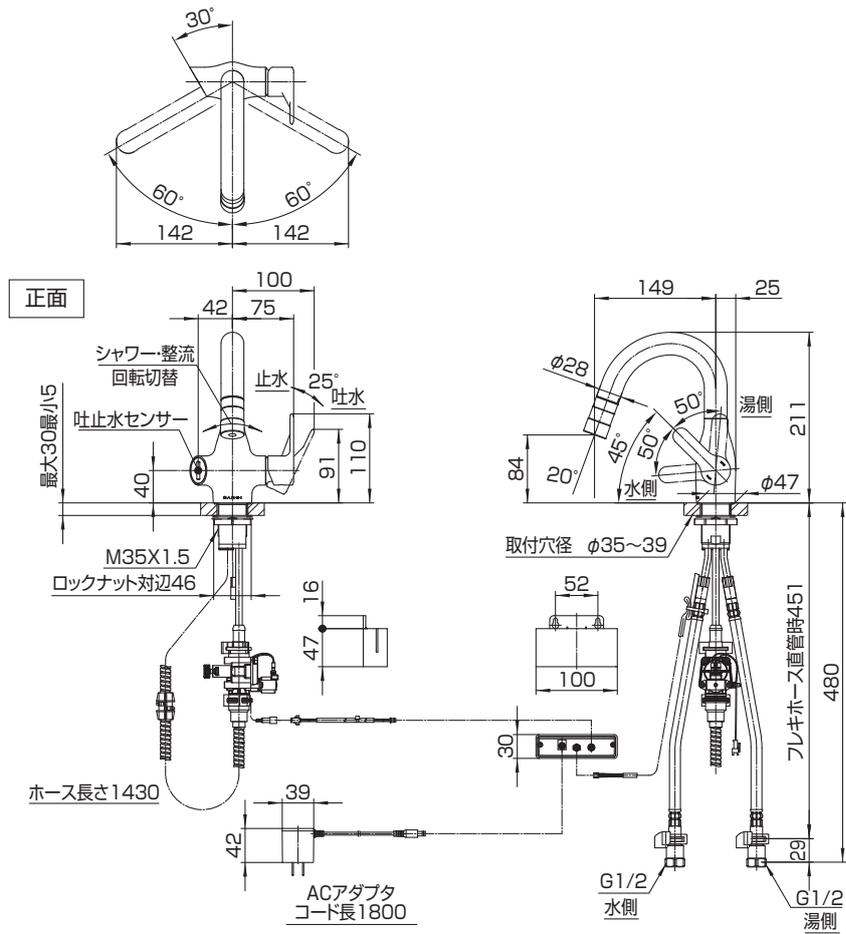
※仕様により、ACアダプターの  
デザインが異なる場合があります。

●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

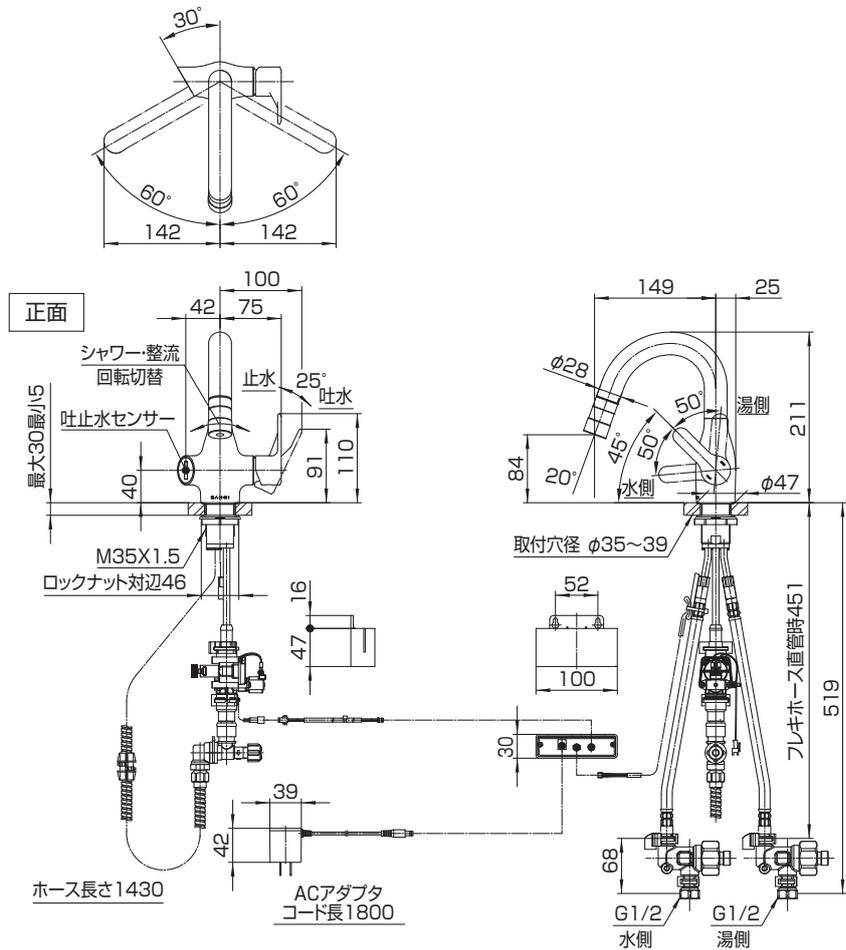
# 寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。

## ■一般用



## ■寒冷地用



# 施工について

## 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

### 用語および記号の説明

- 警告** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
- |  |  |   |
|--|--|---|
|  「してはいけません！」<br>（一般的な禁止記号です。）     |  「濡れた手で触れてはいけません！」      |  「指示通りにしなさい！」<br>（一般的な行動指示記号です。） |
|  「分解してはいけません！」                    |  「水や液体をかけたり、浸けてはいけません！」 |  「指示した場所に触れてはいけません！」             |
|  「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」 |  |   |

### 警告

-  ペースメーカーなど電子医療機器を吐水口本体先端の磁石に近付けないでください。  
医療機器の正常な動作を損ない重篤な危険を招くおそれがあります。
-  電気工事は、必ず電気工事士の資格者が行ってください。  
電気回路容量不足や工事不備があると、火災や感電の原因になります。
-  修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。  
故障や感電の原因になります。
-  同梱の部品以外は使用しないでください。  
火災や感電、故障、水漏れの原因になります。
-  湯水は逆に配管しないでください。  
正常に作動しないため、やけどをすることがあります。
-  指定された電源以外は使用しないでください。  
火災や感電の原因になります。
-  漏電のおそれがある場合は、漏電保護プラグ(別売)を使用してください。  
火災や感電の原因になります。
-  コンセントや配線器具の定格を超える使用は避けてください。  
火災の原因になります。

## ⚠ 警告



浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。  
火災や感電、故障の原因になります。



ケーブル類を乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。  
故障や感電の原因になります。



ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。  
火災や感電の原因になります。



ACアダプターをコンセントに差し込むときは根元まで十分に差し込んでください。  
火災や感電の原因になります。



製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。  
火災や感電、故障の原因になります。



雷が発生しているときは、ACアダプターにさわらないでください。  
感電の原因になります。



ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。  
火災や感電の原因になります。



給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。  
60℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ストレーナパッキンの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行ってください。  
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## ⚠ 注意



(一般用の場合)  
凍結が予想される場所には、取付けないでください。  
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結のおそれがある場合は、配管部などに保温材を巻くなどして凍結を予防してください。寒冷地用をご使用の場合は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を確実に実施してください。(P21参照)  
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。  
故障や水漏れの原因になります。

## ⚠注意



インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。  
センサーどうしが感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。  
誤作動の原因になります。



直射日光の当たる場所には設置しないでください。  
誤作動の原因になります。



センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。  
誤作動の原因になります。

## 施工について 適切な使用条件

### 〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

### 〔給湯機について〕

使用最高温度	60℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数(能力)が必要です。  
四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側でたおしていると少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

### 〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用(屋内用)

## 施工について 施工前のご注意

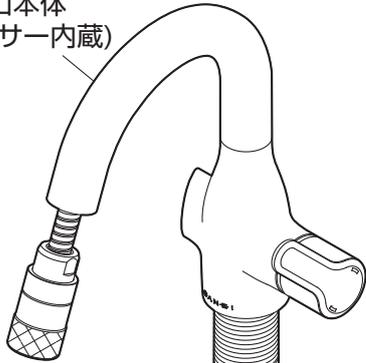
- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

# 施工について 梱包明細

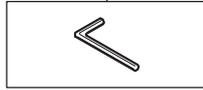
●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

本体 ×1

吐水口本体  
(センサー内蔵)



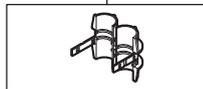
六角レンチ  
(対辺3mm) ×1



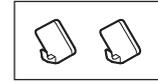
取り外し用  
工具 ×1



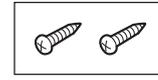
ストッパー ×1



異径クイック  
ファスナー ×1

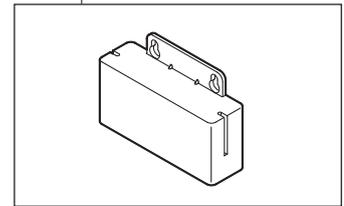


フック  
×2

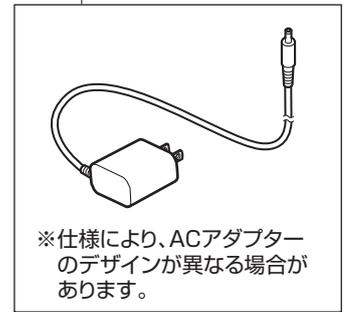


止めねじ  
×2

電源ボックス ×1

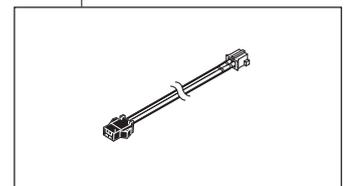


ACアダプター ×1



※仕様により、ACアダプター  
のデザインが異なる場合が  
あります。

電磁弁ケーブル ×1



電磁弁 ×1



寒冷地用



パッキン ×1

菊座金 ×1

ロックナット ×1

ホースガイド ×1  
(本体組み込み済)

接続金具

逆止弁

ストレーナパッキン



クイック  
ファスナー

接続金具  
(逆止弁あり)  
×2

逆止弁  
ユニット  
×2

抜け止め  
カバー

寒冷地用

クイック  
ファスナー

逆止弁ユニット



●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

## 主な工具類

### ■ ナット締付工具： SANEI品番：R353(別売)

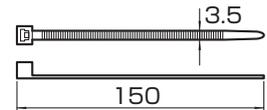
取付ナットを回す時に必要です。

※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。左記寸法と異なる場合があります。



### ■ 結束バンド：

出荷時に取付けている結束バンドをはずす場合、再取付時に必要です。



### ■ スパナ・モンキーレンチなど：

水栓のナットが回せる工具。



### ■ 手袋：

ケガ防止のために着用してください。



### ■ 使い古しのハブラシなど：

取付穴周囲などの掃除ができるもの。



### ■ タオルなど：

ケガ防止や水栓保護のために使用します。



### ■ ぞうきんなど：

配管中の残り水を拭くのに使用します。



## 1 配管内の掃除をします。

### 注意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

**必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。**

(元栓の開閉はP26を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

**この場合には有償修理となります。**

## 2 吐水口本体を取付けます。

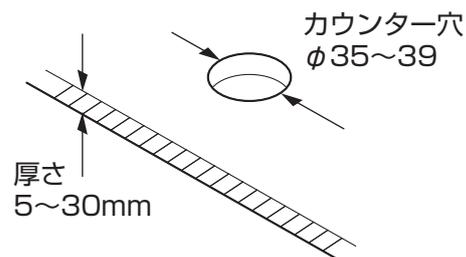
### 注意

センサーやコネクタ接続部が水にぬれたり、汚れ、傷つかないように注意してください。

(1) カウンター穴の寸法を確認してください。

### 注意

カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けてください。

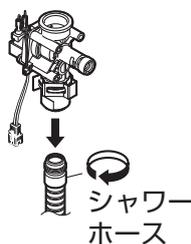


(2) 取付前に、電磁弁、取付ナット、取付金具、取付パッキンを取り外します。

取付場所のスペースを確認してから、吐水口本体が正面を向くように、締付工具で固定してください。

①電磁弁をシャワーホースから取り外します。

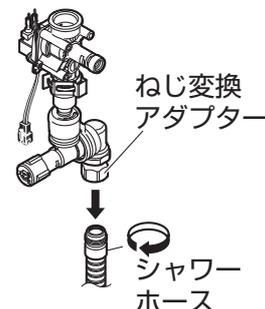
#### ■ 一般用



#### ■ 寒冷地用

### 注意

シャワーホース取り外し時にねじ変換アダプターをゆるめないよう注意してください。

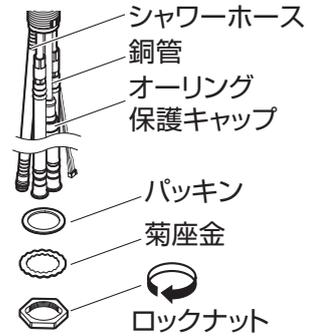
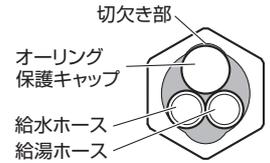


②ロックナット、菊座金、パッキンを本体から取り外します。

アドバイス

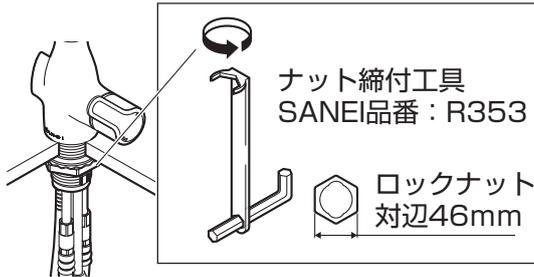
作業前に、シャワーヘッドを引出して、ロックナットにシャワーホースが干渉しない状態にしてください。ロックナットを外すときは右図のように、銅管のオーリング保護キャップを、ロックナットの切欠き部(半円)に寄せてはずしてください。

【ロックナットを下から見た図】



③吐水口本体を取付場所に固定します。

アドバイス



ロックナットに給水・給湯ホースなどを入れる際は、ホースをずらしロックナットの切欠き部(半円)に寄せて入れてください。

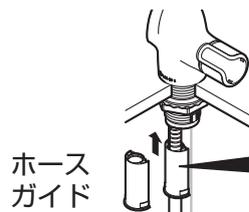


注意

- 取付時にレバーなど可動部分を持たないでください。破損のおそれがあります。
- 緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- シャワーホースの出し入れに影響しないように施工して下さい。

注意

ホースガイドの抜け注意  
施工時にホースガイドが抜けている場合は、本体足部にはめ込んでください。シャワーヘッドがスムーズに引き出せない事があります。



取付後

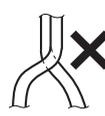
奥まで確実に  
はめ込んで  
ください。



注意

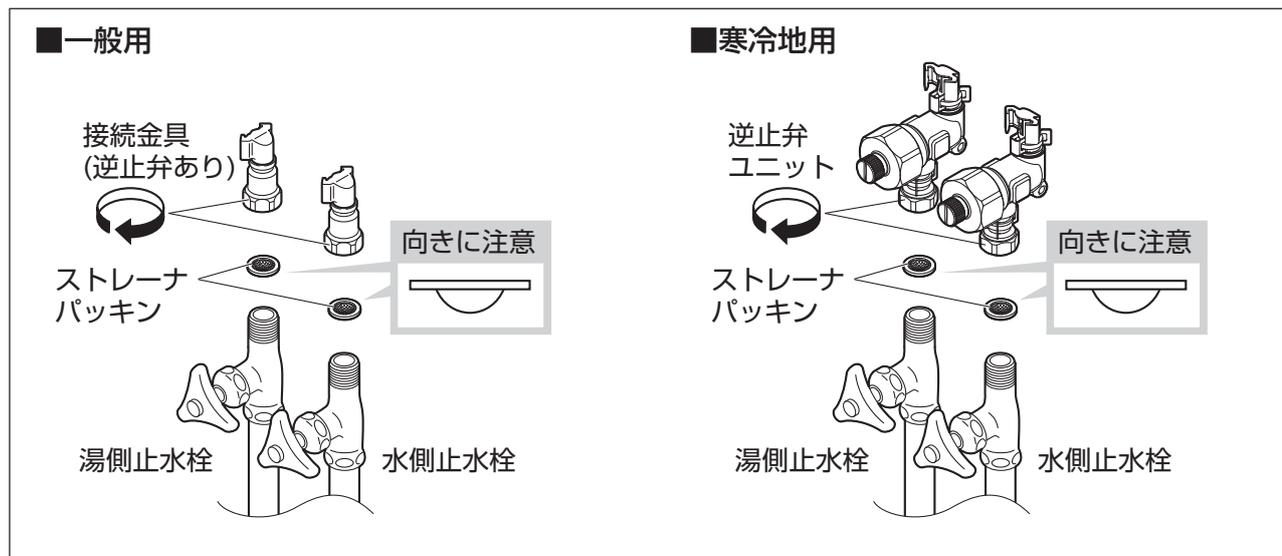
銅管・ホース施工上の注意点

- ※下記注意事項は必ず守ってください。  
銅管・ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。  
銅管・ホースが折れた状態でご使用にならないでください。
- 銅管部分は曲げないでください。
  - ホースの最小曲げ半径は50mmです。ホースを極端に屈曲しないでください。
  - ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
  - ホース同士の不要な接触は避けてください。摩擦による外傷でホースの性能劣化の可能性あります。



### 3 接続金具(逆止弁あり)(寒冷地用は逆止弁ユニット)を取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから接続金具(逆止弁あり)を止水栓などに固定してください。

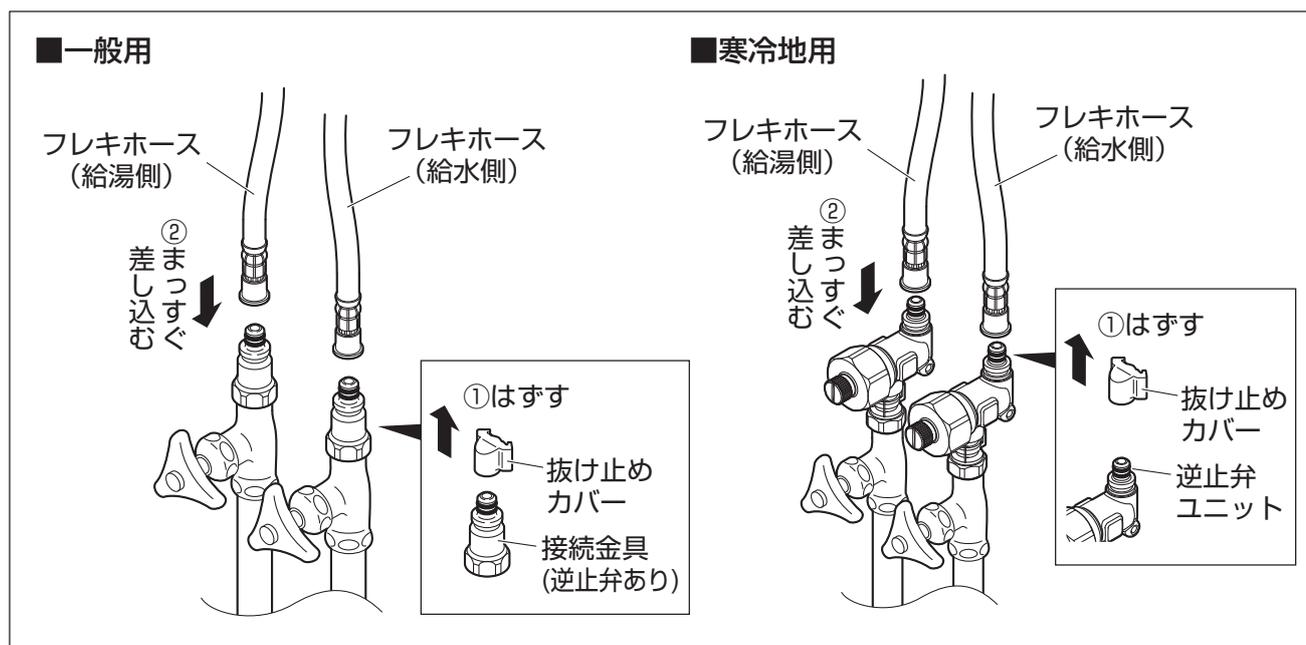


#### ⚠ 注意

- ストレーナパッキンが入っていることを確認してください。  
ストレーナパッキンが入っていないとゴミが混入し、故障の原因になります。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。  
確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

### 4 接続金具(逆止弁あり)(寒冷地用は逆止弁ユニット)と給水・給湯ホースを接続します。

- (1) 接続金具(逆止弁あり)(寒冷地用は逆止弁ユニット)の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースと接続金具(逆止弁あり)(寒冷地用は逆止弁ユニット)のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。

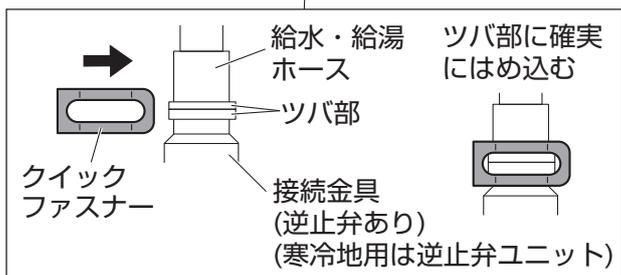
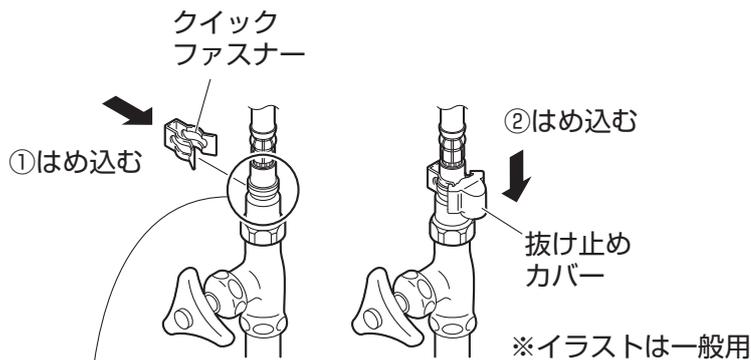


#### ⚠ 注意

- 接続金具(逆止弁あり)のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

(2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと接続金具(逆止弁あり)(寒冷地用は逆止弁ユニット)のツバ部に確実にはめ込んでください。

次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実にはめ込んでください。



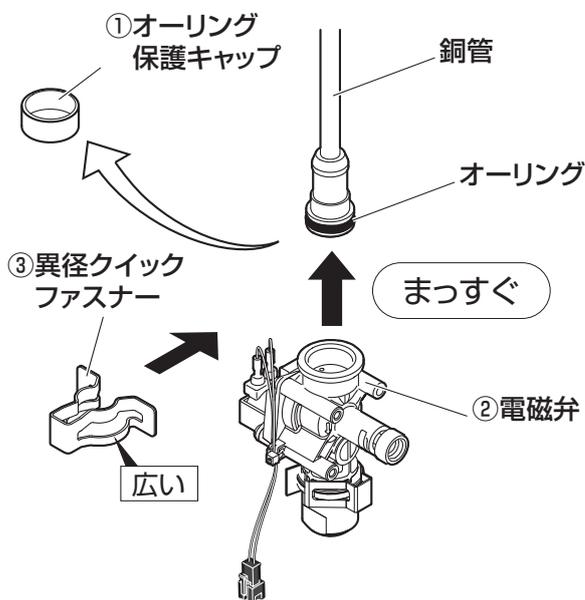
**⚠ 注意**

- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。

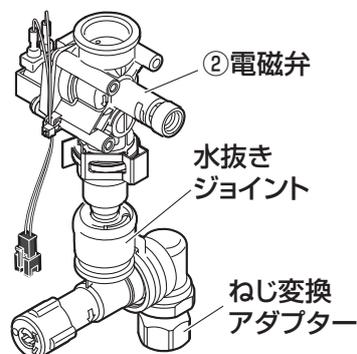
## 5 電磁弁を接続します。

- ①オーリング保護キャップを取はずしてください。
- ②銅管にまっすぐ電磁弁を差し込んでください。
- ③異径クイックファスナーを取付けてください。

### ■一般用

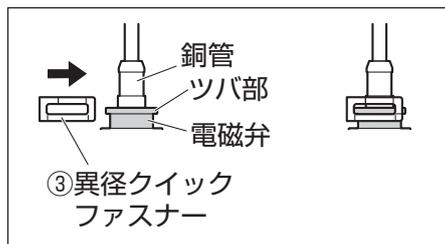


### ■寒冷地用



**⚠ 注意**

ねじ変換アダプターをゆるめないよう注意してください。



**⚠ 注意**

- 異径クイックファスナーは広いほうを下にして取付けてください。
- 異径クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- 異径クイックファスナーは、広げないでください。

## 6 シャワーホースを接続します。

- (1) ホース接続アダプター（寒冷地用はねじ変換アダプター）にマーカーク部までホースを時計回りに回しながら取付けてください。

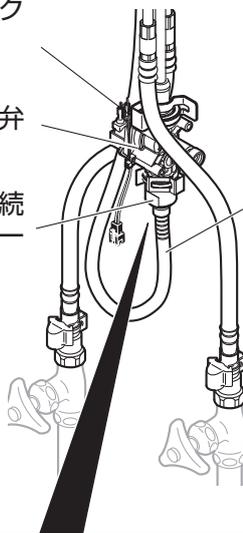
### ■一般用

異径クイック  
ファスナー

電磁弁

ホース接続  
アダプター

シャワー  
ホース

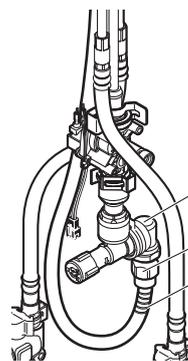


### ■寒冷地用



注意

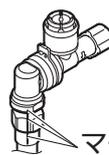
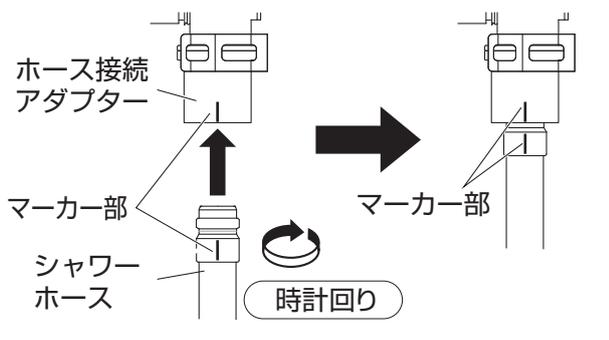
シャワーホース接続時にねじ変換アダプターをゆるめないよう注意してください。



水抜きジョイント

ねじ変換アダプター

シャワーホース



寒冷地用も同様にホースを締め込んでマーカーク部をあわせてください。

マーカーク部



注意

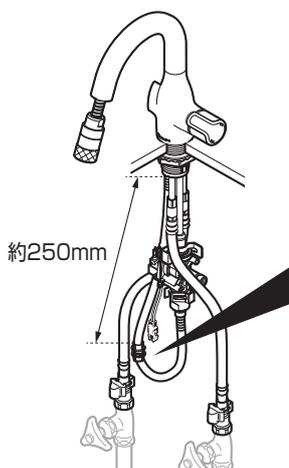
電磁弁からはずした場合はカチッと音がするまで確実に差し込んでください。



注意

シャワーホースが確実に接続されていることを確認してください。

- (2) シャワーホースにストッパーを取付けます。



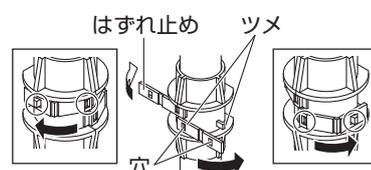
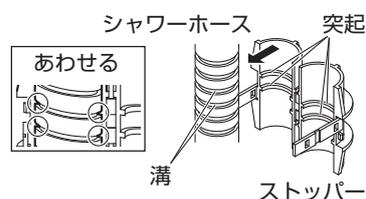
※ストッパーは、シャワーホースの引き出し長さを設定するためのものです。

ストッパー取付け推奨寸法：約250mm

(EK370E型、EK370EK型は、取付現場に合わせて調整可能です)

- 1 ストッパーの突起とシャワーホースの溝をあわせて、はさみ込みます。

- 2 はずれ止めの穴にツメを入れます。(右側2箇所、左側2箇所)



## 7 ケーブル類を接続します。

- (1) 電磁弁から出ている黒色コネクタと電磁弁ケーブルの黒色コネクタを接続してください。



注意

コネクタは、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

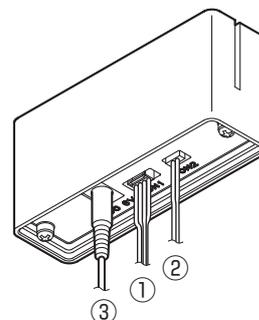
電磁弁側



電磁弁ケーブル側

- (2) 電源ボックスにケーブル類を接続してください。

- ① CN1に制御ケーブルを接続します。
- ② CN2に電磁弁ケーブルを接続します。
- ③ AC 6VにACアダプターケーブルを接続します。



- (3) ACアダプターをコンセントに接続してください。

ACアダプターのケーブルを伝ってコンセントに水がかからないようにコンセント付近で床に接触させてください。

ACアダプター

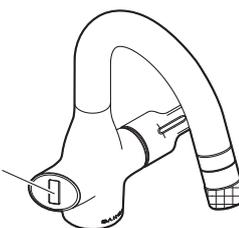


※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

電源が入ったときに、表示ランプが3回点滅することを確認してください。

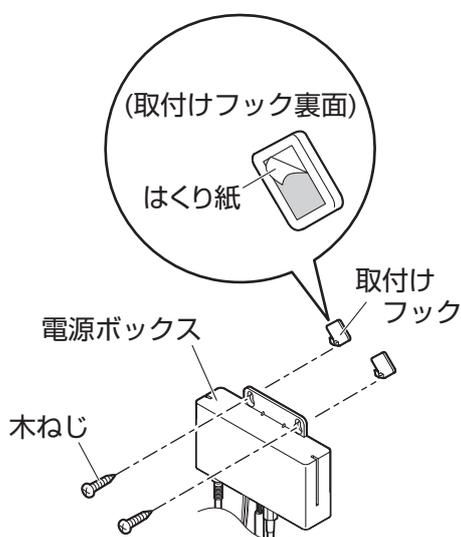
表示ランプ

3回点滅



- (4) 電源ボックスを取付けてください。

電源ボックスをフック(2個)または取付ねじ(2本)で、電磁弁よりも高い位置になるように取付けてください。



注意

- 電源ボックスは、結露した水で濡れないように、電磁弁よりも高い位置になるように取付けてください。
- ACアダプターのケーブルを伝ってコンセントに水がかからないよう、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。
- ケーブル類が扉や引き出しなどに挟まらないように注意してください。  
ケーブル類が浮いていると、扉や引き出しの開閉時にケーブル類が挟まり、断線や故障の原因となります。
- 湯側止水栓やその周辺には、ケーブル類が触れないように注意してください。  
給湯側のため高温になっており、劣化の原因になります。
- 取付けフックを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。  
汚れたまま貼付けると、取付面の強度が落ち、落下の原因になります。
- 取付けフックは、何度も取りはずさないでください。  
取付面の強度が落ち、落下の原因になります。

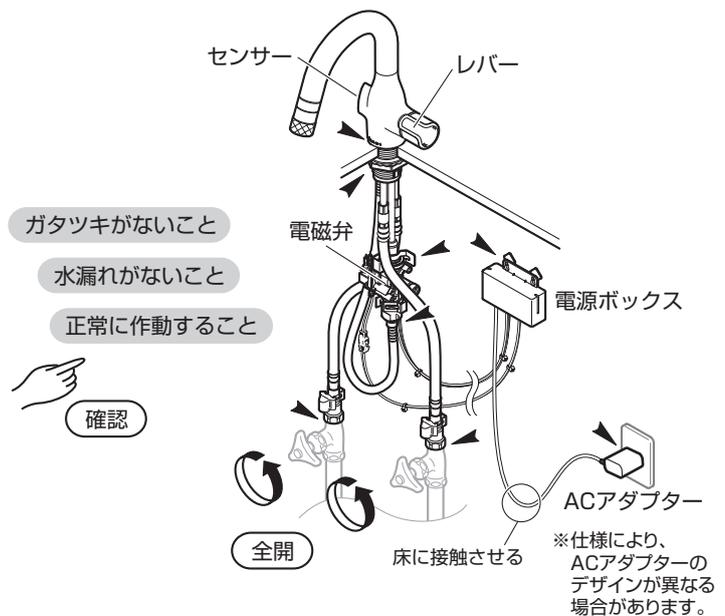
## 8 ガタツキ・水漏れ・動作チェックと吐水状態の確認をします。

### 【ガタツキ・水漏れ・動作チェック】

接続後、各部にガタツキがないことを必ず確認してください。  
ガタツキの確認後、止水栓を全開にし、レバーを外側にたおして、吐水可能な状態にしたら、センサーに手をかざして吐水させ、各部に水漏れがないことを必ず確認してください。  
センサーに手をかざして吐水・止水を行い、センサーが正常に作動することを確認してください。

参照：P19

- ※ ガタツキ・水漏れがある場合は、もう一度施工をやり直してください。
- ※ 正常に作動しない場合は、コネクタが確実に接続されていることを確認してください。
- ※ ホース引き出し時にケーブル類が引っ掛からないことを確認してください。



### 【吐水状態の確認】

センサーに手をかざして吐水・止水させ、吐水状態が正常であることを確認してください。  
吐水状態に乱れがあったり、吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)がある場合は、以下の手順で電磁弁部のエア抜きを実施してください。

### 【エア抜き手順】

- ① 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ② 30秒程度連続吐水させます。  
※ 止水栓が開いていれば、センサー操作をしなくても吐水します。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ センサーに手をかざし、吐水および止水させ、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)がないことが確認できれば完了です。

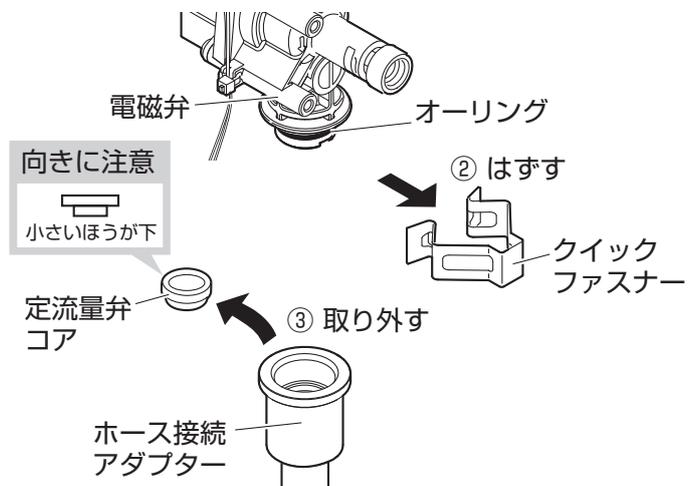


## 9 流量の調節をします。

定流量弁が内蔵されているため流量の調節は必要ありませんが、取付現場の圧力などの条件により十分な流量が得られない場合は、定流量弁を取りはずして止水栓で流量を調節してください。

※十分な流量の目安 4L/min

- ① 止水栓や元栓などを閉じ、止水します。
- ② ホース接続アダプターと電磁弁を固定しているクイックファスナーを外します。  
※ 結束バンドはニッパーなどで切断し、再接続時は新たな結束バンドをご準備ください。参照：P7
- ③ ホース接続アダプター内から定流量弁コアを取り外します。
- ④ 逆の手順にて部品を組付け、クイックファスナーを新しい結束バンドで固定してください。
- ⑤ 止水栓で流量を調節してください。



### ⚠ 注意

電磁弁に付いているオーリングは、はずさないでください。  
オーリングが入っていないと、水漏れの原因になります。

# ご使用について

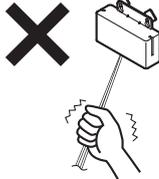
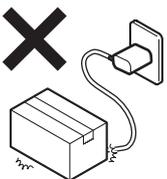
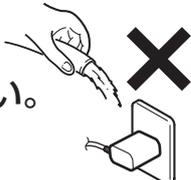
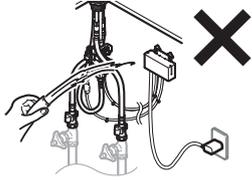
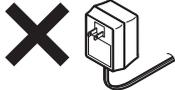
# ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 用語および記号の説明

- 警告** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  ……「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
- |  |  |   |
|--|--|---|
|  「してはいけません!」<br>(一般的な禁止記号です。) |  「濡れた手で触れてはいけません!」                |  「指示通りにしなさい!」<br>(一般的な行動指示記号です。) |
|  「分解してはいけません!」                |  「水や液体をかけたり、浸けてはいけません!」           |  「電源プラグをコンセントから抜きなさい!」           |
|  「指示した場所に触れてはいけません!」          |  「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません!」 |   |

## 警告

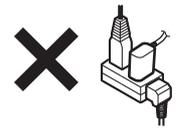
-  ペースメーカーなど電子医療機器を吐水口本体先端の磁石に近付けないでください。  
医療機器の正常な動作を損ない重篤な危険を招くおそれがあります。
-  小さいお子様だけのご使用は、避けてください。  
やけど・けがをするおそれがあります。  
 
-  本製品は、日本国内の洗面用です。  
それ以外の条件下では使用しないでください。
-  ACアダプターおよびケーブル類が破損するようなことをしないでください。  
【してはいけない例】  
●傷つける ●加工する ●無理に曲げる ●ねじる  
●引っ張る ●重いものを載せる ●挟み込む ●加熱する  
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。  
 
-  ACアダプターや電源ボックス・電磁弁・ケーブル類に水や洗剤、汚水をかけないでください。  
火災や感電の原因になります。  
 
-  ACアダプターは、同梱以外のものを使用しないでください。  
火災や感電の原因になります。  

-  ガタついているコンセントは使用しないでください。  
火災や感電の原因になります。  

-  指定された電源以外は使用しないでください。  
火災の原因になります。

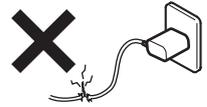
## 警告



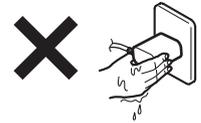
コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。  
火災の原因になります。



ケーブル類の加工（切断・継ぎ足し）を行わないでください。  
火災や感電の原因になります。



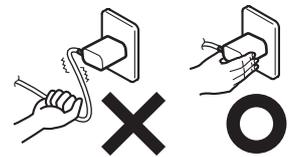
ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。  
感電の原因になります。



ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。  
火災や感電の原因になります。



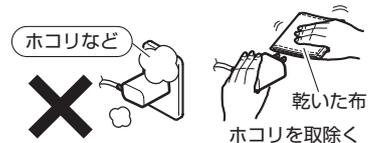
ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。  
火災や感電の原因になります。



雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでください。  
感電の原因になります。



ACアダプターについてのホコリは、取除いてください。  
ACアダプターの端子にホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、  
火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。



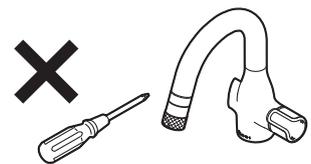
浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。  
火災や感電、故障の原因になります。



●絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。  
火災や感電の原因になります。

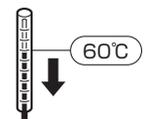
●この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。

故障や感電の原因になります。また、商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

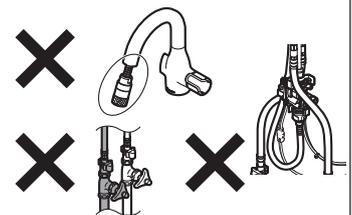


給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。

高温の湯が出るとやけどをするおそれがあります。また、60℃より高温で使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。



高温でご使用中のシャワーホースや湯側配管、電磁弁周辺に、直接肌を触れないでください。  
高温になっており、やけどをするおそれがあります。



レバーの温度位置を確かめて吐水してください。  
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



## 警告



湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめてください。  
高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。  
やけどのおそれがあります。



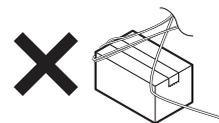
湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。  
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。  
次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



収納物などを収納する際は、ケーブル類に引っ掛からないように注意してください。  
ケーブルが断線し、感電・故障の原因となります。



定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。  
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水抜部は水抜以外の目的で開けないでください。  
水抜部をいきなり開けると高温のお湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## 注意



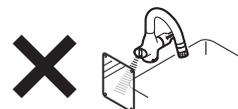
朝一番の使い始めの水は飲まずに別の用途にお使いください。  
しばらく使われないと、ホース内の水は消毒用の塩素がなくなってしまう、におうことがあります。



直射日光の当たる場所で使用しないでください。  
誤作動の原因になります。



センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。  
誤作動の原因になります。



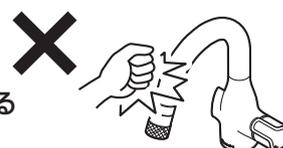
センサー感知窓の上を覆わないでください。  
誤作動の原因となります。



センサー感知窓に向けて、赤外線リモコンを操作しないでください。  
誤作動の原因となります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。  
【してはいけない例】  
●固いものをぶつける ●重いものを載せる ●過度な体重をかける・もたれる  
故障や漏水の原因となります。



## ⚠️ 注意

樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。

●鋭利な物を当てる ●衝撃を与える ●落とす  
メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。  
万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

【樹脂メッキ部品の例】

・レバー



メッキ面がはがれた場合、放置しないでください。

メッキ面がはがれた部分でケガをするおそれがあります。



レバーは、ゆっくり動かしてください。

レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



使用する時は、吐水口をふさがないでください。

シンク下への漏水の原因となります。



吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。

変形、破損および吐水口本体の固定がゆるむおそれがあります。



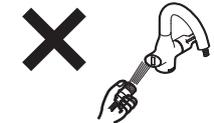
ホースをねじったり、無理に曲げないでください。

ホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



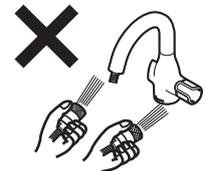
センサーに直接水をかけないでください。

誤作動や故障の原因になります。水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーホース引き出し口やレバー周辺に直接水をかけないでください。

水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また、レバー一部は洗剤などが浸入すると、レバー動作が重くなるおそれがあります。布などを使って拭き上げてください。



シャワーホースを引き出してお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワーヘッドやシャワーホースをつけないでください。

汚水が器具に逆流したり、水がシャワーホースを伝わって落ち、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結のおそれがある場合は、凍結予防を確実に実施してください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
参照：P21



(寒冷地用の場合)

凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
参照：P21



解氷機やアースを水栓に通電しないでください。

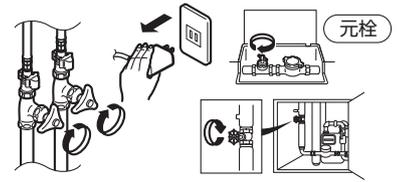
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



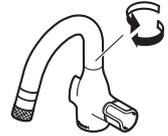
## ⚠️ 注意



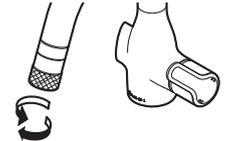
長期間使用しない時は、止水栓または配管部の元栓を閉め、ACアダプターを抜いてください。  
誤作動や故障などによる予想しない事故の原因になります。



日頃から、ときどき吐水口を回してください。  
吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、配管に負荷が掛かり水漏れの原因になります。



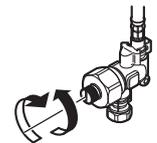
日頃から、ときどき切替ハンドルを回してください。  
切替ハンドルを長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れの原因になります。



日頃から、ときどきレバーを動かしてください。  
レバーを長期間動かさずに使用すると水あかなどが付着し、無理に動かそうとすると、水漏れの原因になります。



日頃から、ときどき逆止弁ユニットのハンドルを回してください。  
ハンドルを長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、配管に負荷が掛かり水漏れの原因になります。



吐水口を回しすぎないでください。  
シンクの外への水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。シンク外で動作しないよう、使用後はレバーを閉じてください。



# ご使用について

## 吐水・止水・温度調節

センサーで吐水・止水、レバーで吐水量・温度の調節ができます。

### 吐水・止水

#### 表示ランプ

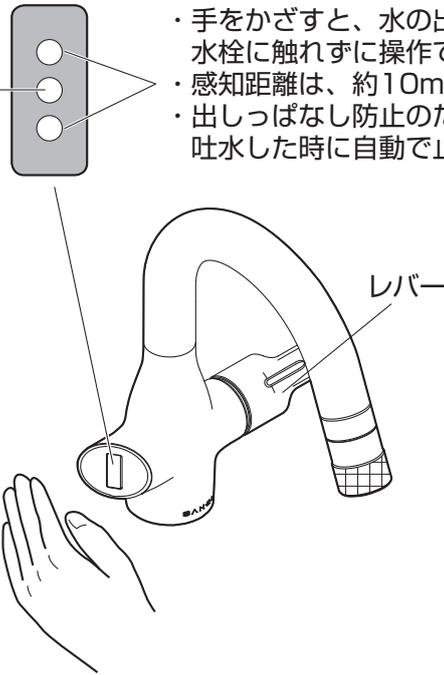
- ・センサー検知時に一瞬点灯します。
- ・エラー発生時に点滅します。

#### センサー

- ・手をかざすと、水の出し止めができます。水栓に触れずに操作できるので衛生的です。
- ・感知距離は、約10mm～約100mmです。
- ・出しっぱなし防止のため、1分間連続で吐水した時に自動で止水します。

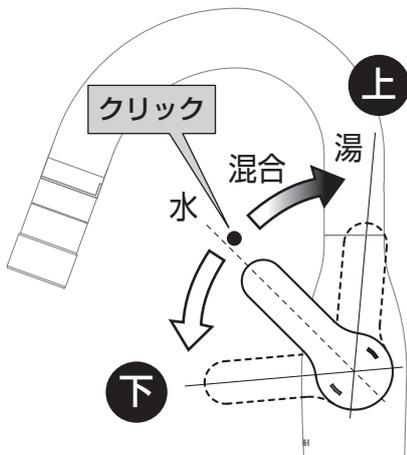
#### お願い

- レバーが開いていることを確認してセンサーに手をかざしてください。
- 吐水している状態で、温度・吐水量を調節してください。



### 温度調節

レバーを  
クリックより下にまわす → 水  
クリックより上にまわす → 次第に温度が  
上がる



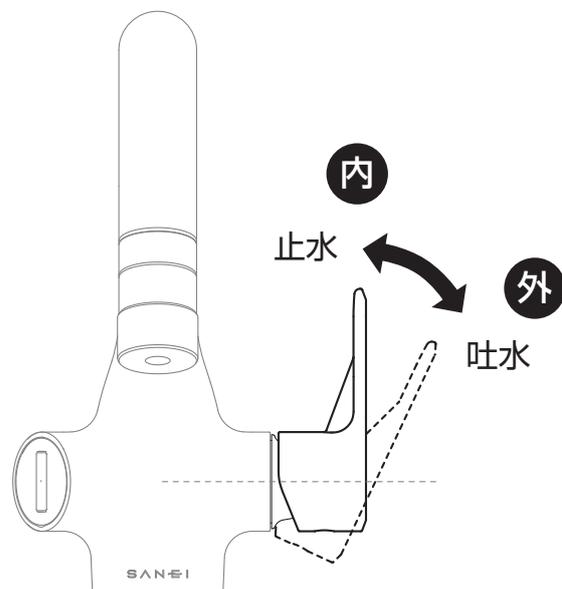
#### エコになるしくみ

上記位置にクリックを設けることで、中央位置で上げた際に湯が出たり、給湯器が着火するのを防ぎます。

### 吐水量調節

レバーを外側にたおす → 吐水  
レバーを内側にたおす → 止水

レバーを右にたおすほど水量が多くなります。



### 温度調節が難しいときは？

温度調節が難しいときは、次の方法で調整しやすくなる場合があります。

●給湯温度を下げる。

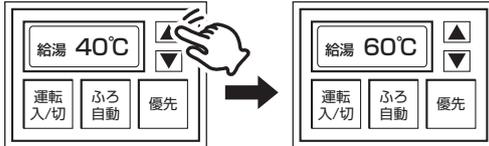


●水側の止水栓をしぼる。



### 高温の湯が出ないときは？

レバーを湯側にまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側のレバーを湯側に回してください。



#### 注意

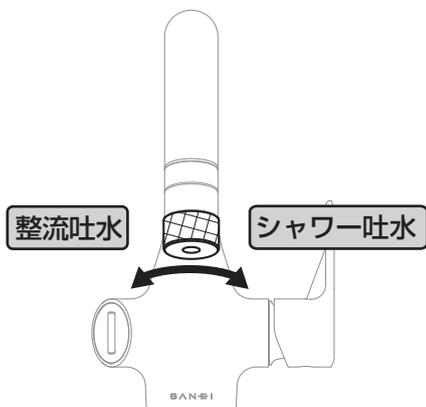
高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとレバーで適温に戻してしばらく水を流してください。

(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓側のレバーを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。

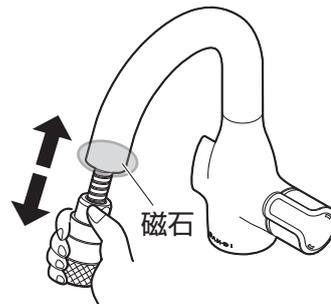


## ご使用について シャワーの使用法

シャワーヘッドのハンドルを回して、整流吐水・シャワー吐水に切替えができます。



シャワーヘッドは引き出せます。収納時はパイプ先端の磁石で固定されます。



#### 注意

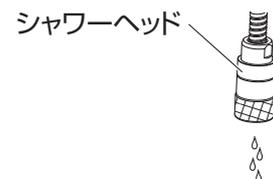
止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。

いつもポタポタ出ているのは電磁弁の栓棒が反時計回りに回転しきっていないか、水栓のバルブ開閉ユニットが故障しているかのどちらかです。

しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば故障ではありません。

シャワーヘッド内の水はシャワー散水板の表面張力により滞留しています。振動などによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出すことがあります。

※残留水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振ってください。



# 凍結予防について

## 一般用の場合

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 電磁弁の栓棒を回し（P25参照）、水栓より少量の水を出してください。
  - 配管などに保温材を巻いてください。
  - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

窓を閉めるなど



湯の当たりとクリックの間で出す

クリック

当たり

湯

湯

# 凍結予防について

## 寒冷地用の場合(水抜方法)

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備（水抜栓）とあわせて使用する製品です。

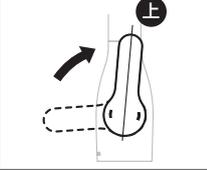
凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜栓を開けます。
- 2 レバーを外側にたおし、下側いっぱいに戻します。
- 3 シャワーホースを引き出せる位置まで引き出します。
- 4 電磁弁の栓棒を時計回りに当たりまで回転させます。
- 5 逆止弁ユニットのハンドルを反時計回りに回して開放します。
- 6 水抜操作ハンドルをゆるめます。
- 7 レバーを外側にたおしたまま、上側いっぱいに戻します。
- 8 シャワーヘッドをよく振ります。

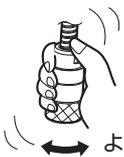
2 レバー



7 レバー



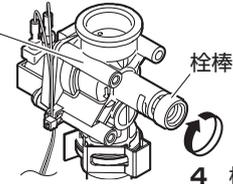
8 シャワーヘッドをよく振って水を抜く。



よく振る

3 シャワーホース

電磁弁



栓棒

4 栓棒時計回り

6 水抜操作ハンドルを回す。

奥まで回す。



Open 方向



水抜穴

逆止弁ユニットのハンドルを反時計回りに回して開放。

5 ハンドル 反時計回り



⚠ 注意

- 水抜き操作時に、水受けなどで抜けてきた水を受けてください。
- 水抜き部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。ご注意ください。
- 水が抜けない場合は、シャワーヘッドを高い位置に持ち上げ、シャワーホースをしっかりと伸ばしてください。

### 再使用时

- ① シャワーヘッド・シャワーホースを元の位置に戻します。
- ② レバーを内側に戻します。
- ③ 逆止弁ユニットのハンドルを時計回りに回して閉じます。
- ④ 水抜操作ハンドルを Close 方向に空回りするまで回します。
- ⑤ 電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回転させます。
- ⑥ 元栓を開けます。
- ⑦ レバーを外側にたおして通水し、水抜穴・各接合部から水漏れがない事を確認してください。

水抜操作ハンドルを Close 方向に空回りするまで回してください。



Close 方向

電磁弁の栓棒 反時計回り

⚠ 注意

ロック部が確実に上がっている事を確認してください。通水するとニップル部から抜けるおそれがあります。



ロック部

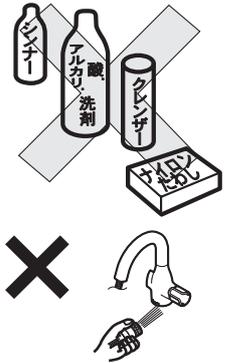
## 日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。  
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

### ⚠ 注意

- 中性洗剤以外は使用しないでください。
- お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
  - ・ 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類 ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
  - ・ ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
  - ・ クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
  - ・ ナイロンたわし・メラミンフォームなど製品の割れや変色変質の原因となります。
- レバー部に水をかけないでください。  
レバー部より洗剤などが浸入すると、レバー動作が重たくなるおそれがあります。布などを使って拭き上げてください。



洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。  
製品の割れや変色変質の原因となります。



## 日頃のお手入れ センサー部の掃除

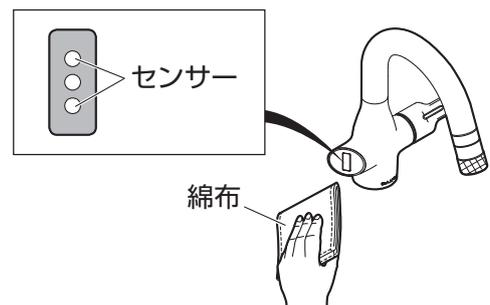
センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していると、勝手に水が出るなど誤作動することがあります。  
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 1 止水栓を右に回し、止水します。
- 2 水またはぬるま湯に浸した綿布で汚れを拭き取ります。

汚れがひどい場合は、綿布にうすめた食器用中性洗剤を含ませて拭き取った後水拭きしてください。



拭き取り時にセンサー面に傷をつけないでください。



# 日頃のお手入れ ストレーナパッキン・吐水口の掃除

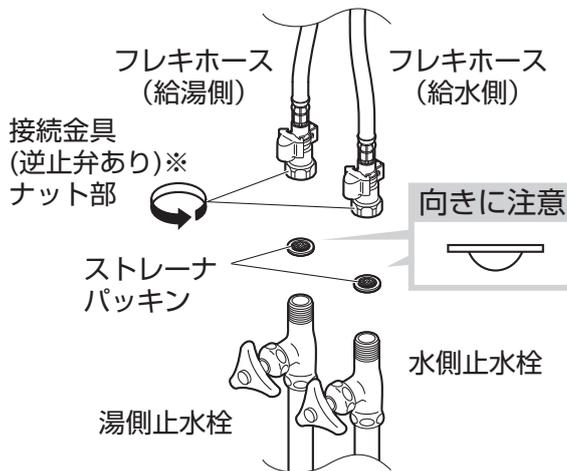
ストレーナパッキン・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 止水栓を回し、止水します。
- 2 ■ ストレーナパッキンを掃除する場合 … 水受を用意し、ナット部をはずします。  
■ 吐水口を掃除する場合 … シャワーヘッドからストレーナ及びシャワー板をはずします。

## ストレーナパッキンを掃除する場合

### ⚠ 注意

- 電池ボックスやコネクタ接続部が水にぬれたり、汚れ、傷つかないように注意してください。
- 湯側配管部は高温になっているおそれがありますのでご注意ください。
- 湯側のナット部をはずす際は、高温の湯が噴き出すおそれがありますので、ご注意ください。
- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。



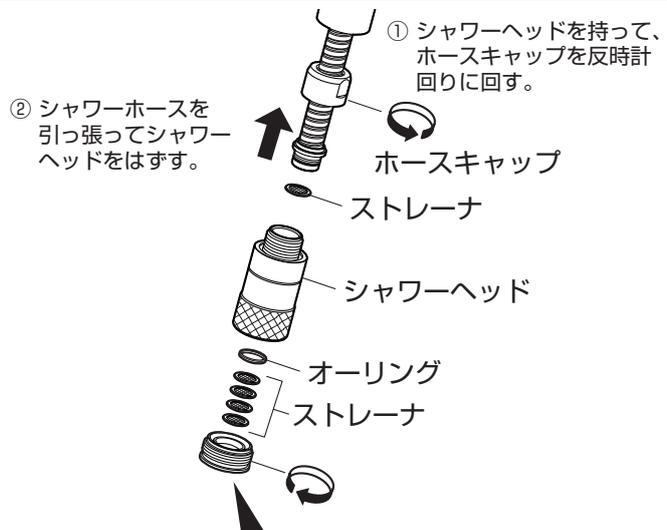
※フレキホース取り外し時に、水受けなどで残り水を受けてください。

※寒冷地用は逆止弁ユニットになります。

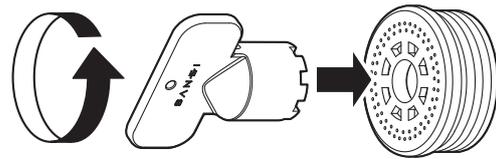
## 吐水口を掃除する場合

### ⚠ 注意

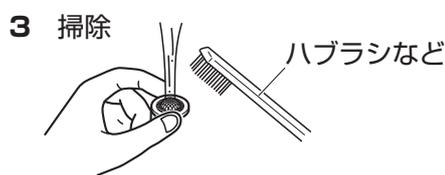
- センサー部に汚れ、傷つかないように注意してください。
- 取りはずす時に部品が落ちる場合があります。部品が排水口に落ちないように、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。



同梱の取り外し用工具先端をシャワー板のくぼみに合わせて差し込んで、回してください。



- 3 ハブラシなどで網部分・シャワー板を掃除します。



### 掃除後

部品を逆の手順で取付けます。

### ⚠ 注意

- ストレーナパッキン、またはパッキンが入っていることを確認してください。
- ストレーナパッキン、またはパッキンの傷、ゴミかみに注意してください。水漏れの原因になります。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

### 再使用时

- はずした部品が確実に閉まっているか確認してください。
- 止水栓を開いて水漏れ・動作チェックと吐水状態の確認を行ってください。参照：P13

## 定期的な点検

### 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。吐水口の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき吐水口を回してください。  
(月1回を目安)

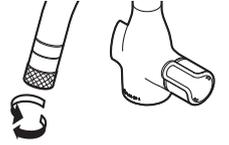
吐水口が回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。



日頃から、ときどきシャワーヘッドの切替操作を行ってください。

水あかなどが付着し切替不良発生の原因になります。

切替操作ができなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。



日頃から、ときどきレバーを動かしてください。  
(月1回を目安)

レバーが動かなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。



日頃から、ときどき逆止弁ユニットのハンドルを回してください。  
(月1回を目安)

ハンドルが回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。



## 定期的な点検

### 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ・ホコリの除去

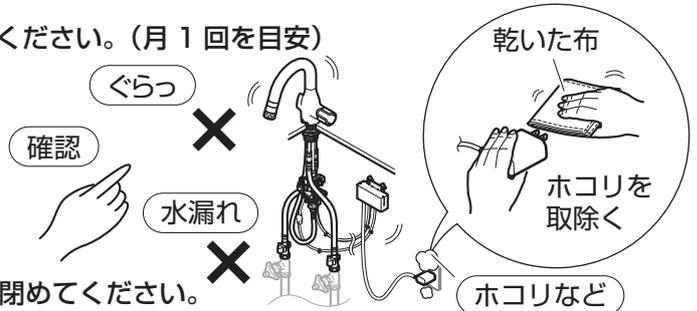
定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

定期的に、ACアダプターについてホコリを取除いてください。(月1回を目安)

ACアダプターの端子にホコリなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布でホコリを取除いてください。



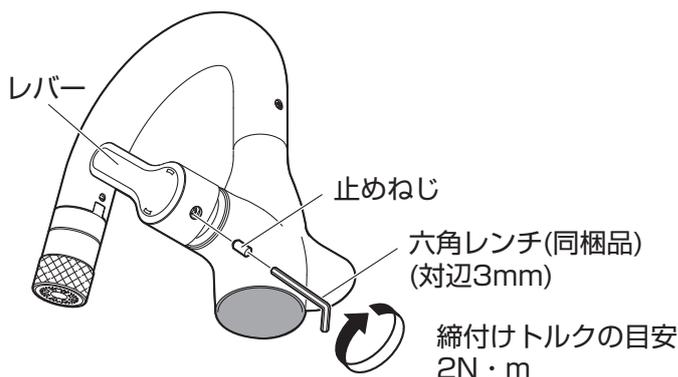
漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。\*仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

## 定期的な点検

### レバーのガタツキ

レバーががたつく場合、止めねじがゆるんでいないか、下記の操作を行い確認してください。



以上の処置をされても不具合がなくなる場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。

## 定期的な部品交換 シャワーホース・逆止弁の交換時期

シャワーホースの交換時期の目安：5年

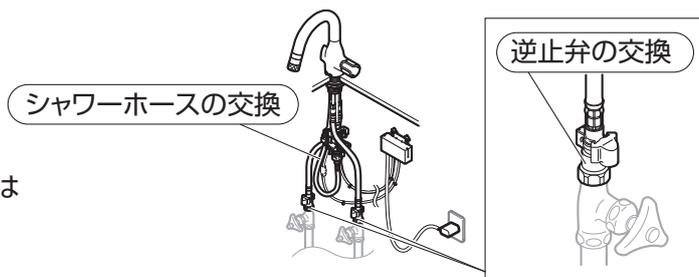
シャワーホースの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

※交換時期は、使用環境などにより異なります。

※シャワーホース・逆止弁の交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。



## こんなときは 停電時の措置

停電した場合は、下記の措置を行ってください。

- 1 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- 2 レバー操作で吐止水を行ってください。
- 3 停電から復旧した後に、電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)



## こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

### 吐水しない

- |                               |       |                                  |           |
|-------------------------------|-------|----------------------------------|-----------|
| ◇ ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか。   | → 【A】 | ◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 | → 【G】     |
| ◇ ケーブル類は確実に接続されていますか。         | → 【B】 | ◇ センサーの感知エリア内に障害物はありませんか。        | → 【H】     |
| ◇ 止水栓は開いていますか。                | → 【C】 | ◇ LEDが点滅していませんか。                 | → 【H】 【M】 |
| ◇ 停電中ではありませんか。                | → 【E】 | ◇ レバーが閉まっていませんか。                 | → 【J】     |
| ◇ 断水中ではありませんか。                | → 【E】 |                                  |           |
| ◇ ストレーナパッキン・吐水口のゴミづまりはありませんか。 | → 【F】 |                                  |           |

### 水(湯)が止まらない

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| ◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 | → 【G】 |
| ◇ センサーの感知エリア内に障害物はありませんか。        | → 【H】 |
| ◇ 電磁弁の栓棒が開いていませんか。               | → 【I】 |
| ◇ 停電中ではありませんか。                   | → 【E】 |

### 流量が少ない

- |                               |       |
|-------------------------------|-------|
| ◇ 止水栓は十分に開いていますか。             | → 【C】 |
| ◇ ストレーナパッキン・吐水口のゴミづまりはありませんか。 | → 【F】 |
| ◇ レバーの位置は合っていますか。             | → 【J】 |

### 高温しか出ない

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| ◇ 水側の止水栓は十分に開いていますか。         | → 【C】 |
| ◇ 水側のストレーナパッキンのゴミづまりはありませんか。 | → 【F】 |
| ◇ レバーの位置は合っていますか。            | → 【J】 |

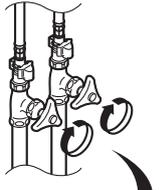
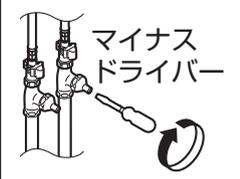
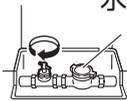
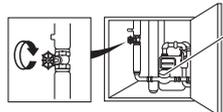
### 低温しか出ない

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| ◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。          | → 【K】 |
| ◇ 湯側の止水栓は十分に開いていますか。         | → 【C】 |
| ◇ 湯側のストレーナパッキンのゴミづまりはありませんか。 | → 【F】 |
| ◇ レバーの位置は合っていますか。            | → 【J】 |

<b>温度調節がうまくできない</b>			
◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。			→ 【K】
◇ 湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか。			→ 【C】
◇ ストレーナパッキンのゴミづまりはありませんか。			→ 【F】
◇ レバーの位置は合っていますか。			→ 【J】
<b>水(湯)が出たり止まったりを繰り返す(勝手に出る)</b>			
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。			→ 【G】
◇ センサーの先に鏡の様な反射物はありませんか。			→ 【L】
◇ インバータや赤外線を用いた他の機器を近くで使用していませんか。			→ 【N】
◇ 直射日光が入っていませんか。			→ 【M】
<b>水が出る時、または水が止まる時にドドドッと水が震える</b>			
◇ 電磁弁が震えていませんか。			→ 【D】
<b>シャワーヘッドから水滴が落ちる</b>			
◇ 一定時間経過で水滴が落ちなくなりませんか。シャワーヘッド内の残留水で異常ではありません。			
<b>使い始めからしばらくして、レバーの作動が重く(あるいは軽く)感じる。</b>			
◇ ご使用することで、商品内部の部品がなじんで安定化する現象で、故障ではありません。			
【A】	ACアダプターを確実に差し込んでください。 参照：P12	【H】	センサー感知エリア内の障害物を移動してください。 参照：P16
【B】	ケーブル類を確実に差し込んでください。 参照：P11,12	【I】	電磁弁の栓棒を反時計回りに閉めてください。 参照：P13
【C】	止水栓を十分に開いてください。 参照：P13	【J】	レバーの位置を確認してください。 参照：P19
【D】	エア抜き作業を行ってください。 参照：P13	【K】	給湯機の設定温度・作動を確認してください。 参照：P20
【E】	レバーを閉めて、復旧するまで待機してください。	【L】	反射物を移動してください。 参照：P16
【F】	ストレーナパッキン・吐水口の掃除をしてください。 参照：P23	【M】	直射日光が入らないようにしてください。 参照：P16
【G】	センサー部の水滴や汚れを柔らかい布で拭き取ってください。 参照：P22	【N】	誤作動の原因となる機器を取り除いてください。 参照：P4

上記の点検を実施されても不具合がなくなる場合は、お手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

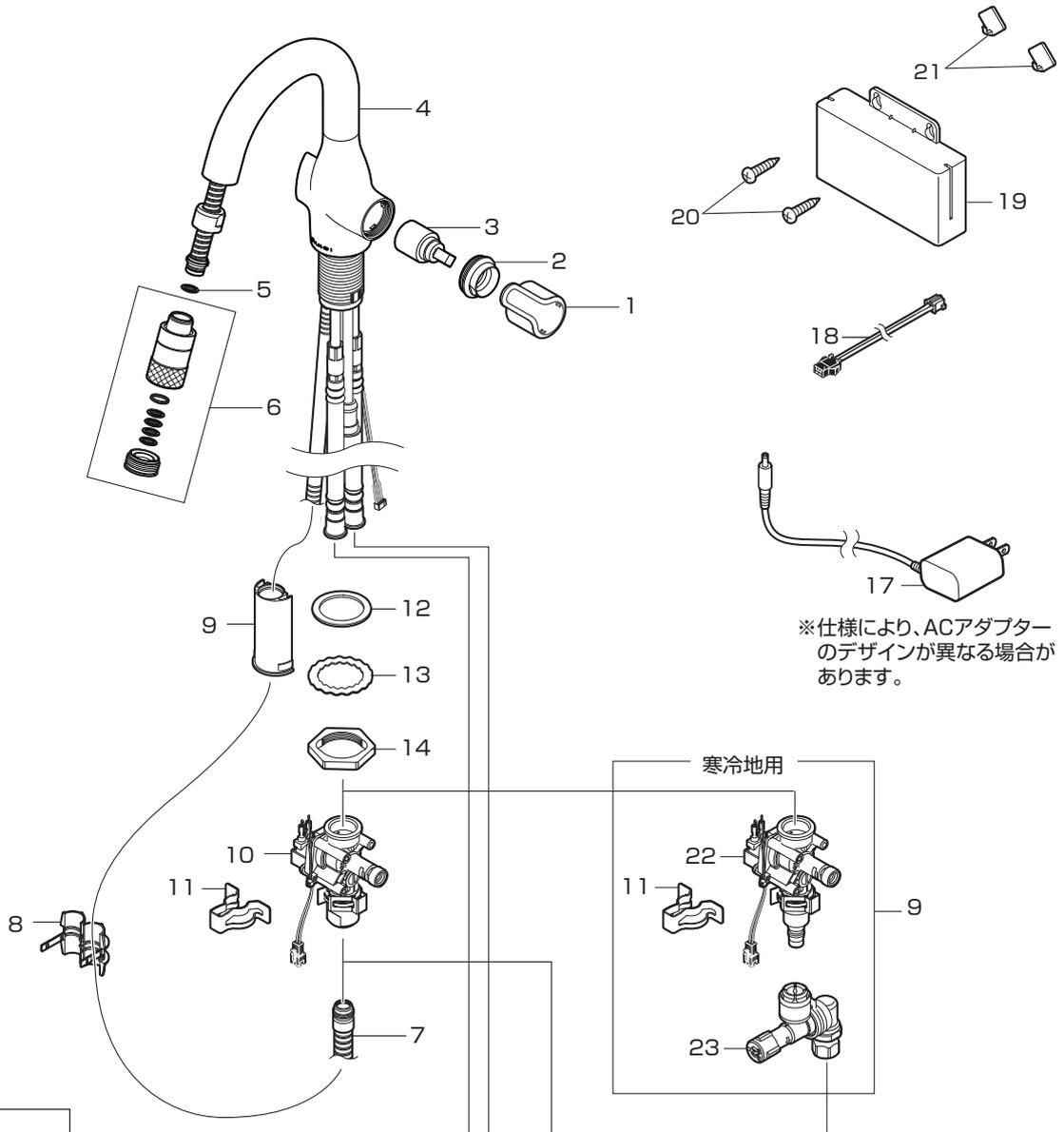
**漏水した場合の処置** 漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

<b>止水栓の閉め方</b>	<b>元栓の閉め方</b>
<p>カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。</p>  	<p>元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。</li> <li>※ 閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。</li> <li>※ 一部の地域では左まわしの場合があります。</li> <li>※ 元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。</li> </ul> <p>■ 戸建て住宅などの元栓ボックス： 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。</p> <p>●キー式 止水栓キー </p> <p>●ハンドル式 水道メーター(量水器) </p> <p>■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス： 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。</p>  <p>水道メーター(量水器)</p>

# こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

※部品として注文いただける単位のものではありません。



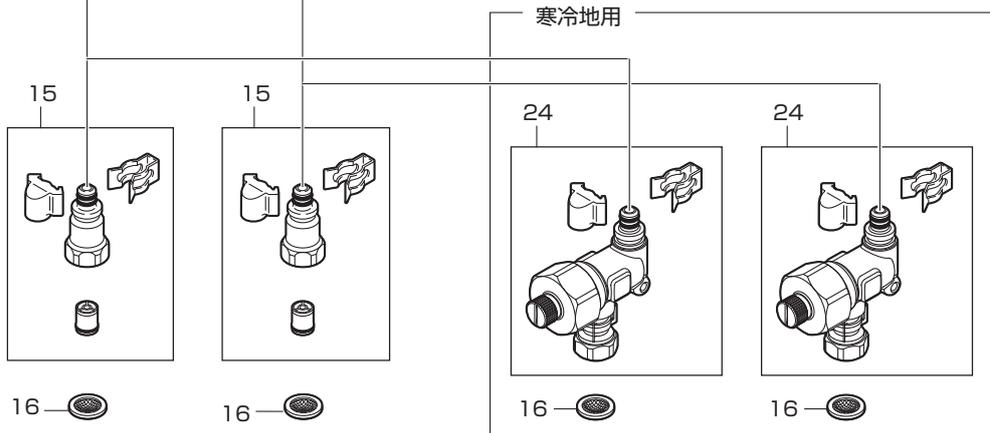
※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

## 一般用

1. レバー
2. カバー
3. シングルカートリッジ
4. 吐水口本体
5. ストレーナ
6. シャワーヘッド(切替)
7. シャワーホース
8. ストッパー
9. ホースガイド
10. 電磁弁
11. 異径クイックファスナー
12. パッキン
13. 菊座金
14. ロックナット
15. 接続金具(逆止弁あり)
16. ストレーナパッキン
17. ACアダプター
18. 電磁弁ケーブル
19. 電源ボックス
20. 取付ねじ
21. フック

## 寒冷地用

22. 電磁弁
23. 水抜きジョイント
24. 逆止弁ユニット



# 仕様

型 式	EK370E型, EK370EK型, EK370E-TN型, EK370E-TCN型
電 源	AC電源 AC100V 50/60Hz
消費電力／電池寿命	待機時：0.5W 動作時：最大2W
センサー感知距離	約10～100mm
検知時間（間隔）	0.5秒以内
自動止水機能	連続自動吐水してから1分後に、自動的に止水
最大流量	約4L/min ※本製品には定流量弁(4L/min)が搭載されています。
給水部接続	G1/2



# 保証とアフターサービス

## 〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。  
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。  
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。  
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

### 定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替え  
ご検討

摩耗劣化部品の交換

日頃のお手入れについてはP22~23、定期的な点検についてはP24をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例：シングルカートリッジ・シャワーホース・逆止弁・電装部品・電磁弁 など

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。  
部品の詳細についてはP27を参照してください。

## 〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

## 〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
  - 住所、氏名、電話番号
  - 品番、品名
  - お買上げ(お取付け)年月日
  - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、  
部品交換の依頼
  - 訪問希望日

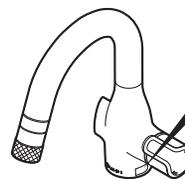
- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには本体右側下部に貼付のシールをご確認ください。



(例) 品番  
EK370E  
1234567890 G  
製造番号

## 〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。  
ご不明な場合は当社までお問い合わせください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

ホームページ [www.sanei.ltd](http://www.sanei.ltd)

## 水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)	
	本体	2ヵ年	
お買上げ日 (お取付け日)	年	月	日
お客様	お名前	様	
	ご住所		
	電話	( )	
	販売店	店名 住所	
	工事店	電話 ( )	

<無料修理規定> ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
  - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
  - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
  - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
  - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
  - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
  - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
  - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
  - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
  - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
  - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
  - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
  - (13) 本書の提示がない場合
  - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。

★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

修理メモ

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

ホームページ [www.sanei.ltd](http://www.sanei.ltd)